

2019年度

事業計画

まちづくり委員会

1. 基本方針

日本は長引く経済的低迷の中にあり、人口は減少傾向で少子高齢化が進んでいます。その問題は私たちの住む地域も例外ではありません。平成26年の長井市のアンケートでは、年代が低くなるほど地域への愛着度が低く、定住意向も低いとの結果が出ています。白鷹町、飯豊町、小国町においても10～20代の若者が地域外へ流出しているのが現状です。地方創生の中心は「人」であり、持続可能なまちづくりにおいて人口問題は課題となるものです。地域資源や知恵を最大限に生かし、若年層や転入者、子育て世代にとって魅力があり、住み続けたいくなるようなまちづくりを、皆で協働し目指していくことが急務であると考えます。

今年、まちづくり委員会では、「文化芸術」活動によるまちづくりに挑戦します。文化芸術的活動は人間の想像力と感性を育み、他者と共感しあう心呼び起こします。その結果、意思の疎通が密になり、相互理解が促進され、共に生きる社会の基盤が形成されていきます。また、人々の生活の中から育まれる文化芸術は、ゆとりと潤いを実感できる心豊かな生活を実現して行くうえで不可欠なものであり、社会の一員としての誇りやアイデンティティを形成するうえで大切なものです。更に、物事を多角的に捉える力が養われる為、文化の多様性が維持され、自分の置かれている環境を肯定的に捕らえることに繋がると思います。地域を様々な視点から見て新たな魅力を発見し様々な方法で発信することが出来る「人」が増え、その「人」がまちづくりに積極的にかわることで、地域が活性化していきます。まちづくりのみならず、その波及効果は、教育、福祉、観光、産業など幅広い分野で期待できます。様々な背景を持った多様な人々が、自分に合った形でまちづくりに参加できるようなきっかけ作りを行う事で、地域に貢献していきたいと思えます。活動を行うに当たっては、10年継続してきた「夢灯」で培ってきた他団体との協力関係や、地域との思いの共有が強みとなるはずで、この活動がその先どう生かされていくのか、を意識し、事業を展開していきます。

2. 事業目的

- 1、地域の人々と協働し、交流人口の増加と地域のさらなる活性化を図る。
- 2、地域を多角的に見て新たな地域の魅力を発見し発信出来る人を増やす。
- 3、地域貢献を通して地域への愛着を高める。

3. 事業計画

事業名	事業内容	日時・場所	予算	主務
地域活性化事業	音楽とアートを融合させた文化芸術的活動を通し地域の活性化を図る。	8月、9月 (計2回)	¥1,020,000	全員
フラワーボランティア事業	花植えを通し地域への愛着を高める。	6月	¥30,000	全員

予算合計 ¥1,050,000

ひとづくり委員会

1. 基本方針

今日の私たちの暮らしは時代の変化とともに便利で豊かになってきましたが、その影響により子ども同士の交流や地域との関わりは以前よりも少なくなり、子どもや若者のコミュニケーション力は低下してきました。これからの将来を担う子どもたちにはさまざまな考えや環境にふれることで、社会性や自立性を育み、相手のことを考え自ら行動できる人になってほしいと思います。

長井青年会議所ではこれまで「ながい寺子屋」をはじめ、地域資源を生かした青少年育成事業を数多く展開してきました。本年のひとづくり委員会の活動はこれまで行ってきた地域資源を活用するということを踏襲しつつ、新たな視点としてスポーツを中心とした活動に主眼を置き、「相手のことを考え自ら行動できる人になってもらう」ために、学校や塾で習う知識だけではなく普段生活する中だけでは体験・体感できないことを多く経験できる場を提供したいと考えています。スポーツを通して学校や地域間の壁を越え、多くの仲間とふれあい、同じ時間を共有し絆を深めることでお互いをリスペクトする気持ちやコミュニケーション力を高めます。また、私たち大人も時には厳しく、時には子どもの立場になって考え、子どもたちの良き理解者としていられるよう同じ時間や空間を共有することで、さまざまな価値観や考え方を学び共に成長してほしいと思います。

私たち大人が育ち作り上げてきた環境はどうだったのか。これからの時代を担う多くの子どもたちへどのようにつなげていけば良いのか。そして、子どもたちが自ら創造し新たな時代を作り上げていけるように、それぞれが置かれている環境を知り、多くの経験を通し新たな可能性を切り開いていけるような学習、交流の場を作っていきます。

最後になりますが、委員会メンバー一同、一致団結し努力して参りますので、今年1年間宜しくお願い致します。

2. 事業目的

- 1、多くの仲間とふれあい、コミュニケーション力を高める。
- 2、相手を思いやることのできる、豊かな心を育む。

3. 事業計画

事業名	事業内容	日時・場所	予算	主務
青少年育成交流事業	地域資源を活用したスポーツ体験事業を行う。	7月、10月 (計2回)	¥718,000	渋谷
第28回 JC杯中学野球大会	実戦経験の少ない子どもたちを中心とし、今後の目標や課題を見つける機会を提供する。	10月	¥43,000	横澤

予算合計 ¥761,000

人財育成委員会

1. 基本方針

近年西置賜においては、若者の都市部への流出により人口減少や少子高齢化などが進み活気が失われつつあります。地域の活気を取り戻すためにこの地に住まう我々青年が、地域や子ども達に対して活力を与えられる人財であることの重要性が増してきていると考えます。活力を与えられる人財となるためには、メンバー各々が自分自身を理解した上で自分の魅力を最大限に生かし、一步を踏み出すことで学びや気づきを得る必要があります。

人財の成長は組織の環境に大きな影響を受けます。私たちが率先して新たな価値観や多様性を学ぶことで、意識改革と自己成長を促し常識に捉われない新たな考え方を身につける必要があります。組織全体に人財育成を行う空気が流れていれば、人財の能力は自然と高まり人財が成長するものと考えます。

また人財の創出には、新たな価値観を持った人との出会いが不可欠です。出会いの機会を設けることで新たなコミュニティの形成を促し、時にそれは今まで存在し得なかった価値を生み出します。新たな価値を生み出すことは自信に繋がり、自信は行動力へと昇華されます。行動することによって得られた経験は糧となり、また新たな自信へと繋がっていきます。

地域のためそして地域の未来を担っていく子どもたちのためにも、今私たち大人が現状に満足せず常に進化していかなければなりません。まずは委員会メンバーが同じベクトルで地域に活力を与えられる人財となるよう向上心を持ちながら取り組んで参ります。その想いが長井青年会議所メンバー一人ひとりに伝播し、常に学び続ける姿勢を忘れず、地域に良い影響を与えられるような魅力ある人を増やしやがてより魅力的な組織となるように意志を持って行動して参ります。

一人ひとりがそれぞれの魅力を最大限に活かし、この地域に必要とされる人財となるよう、今年度人財育成委員会は失敗を恐れることなく、多くの成長の機会を提供できるよう邁進して参ります。1年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2. 事業目的

- 1、地域に活力を与えられる人財を育成する。
- 2、行動力を持った人財を育成する。

3. 事業計画

事業名	事業内容	日時・場所	予算	主務
西野亮廣氏講演会	地域に活力を与えられる人財の育成	5月	¥800,000	大泉紀也
次年度理事長候補者所信(案)発表例会	次年度理事長候補者の想いを、メンバーが共有するための場の創出	9月	¥5,000	小松祐一郎
行動力向上セミナー	人財の育成に不可欠な人との出会いの場を創出する事業	3月	¥58,000	梅津拓郎

予算合計 ¥863,000

会員拡大特別会議

1. 基本方針

長井青年会議所がこの地域で運動を始めてから54年目の今年、私たちは23名の仲間とスタートを切ります。この23名という会員数は決して少ない数字ではありません。しかし、LOMにおける会員数は今後の運動規模や活動内容、発信力に大きく影響するものです。地域の課題解決に向けて活動する上でしっかりとした基盤を作っていく為にも、今私たちが会員拡大運動を行わなければならないのです。

青年会議所は単年度制で毎年役職が変わり、40歳で卒業という限られた時間の中で運動を続けています。その中で、組織として魅力を持ち続け、地域に活力を与え、時代に即した変化を起こしていく為には、常に新しいメンバーを迎え入れ、新しい価値観を取り入れていく必要があります。そうすることで青年会議所として運動の多様性を生み、事業の幅を広げ、より多くの人々の心を動かす魅力に繋がり「明るい豊かな社会」の実現に近づいていくのです。

2019年度、私たち会員拡大特別会議はこれらの課題解決のため、定期的な異業種交流会を柱に6名以上の新規入会を目標に活動してまいります。候補者に対して直接的なアプローチが主でしたが、様々な世代、性別、就業地の方が参加できる交流会を行い、人の繋がりから信頼と実績を積み重ねることで入会に繋げてまいります。また、常に様々な交流の形を模索し、双方に多くの学びをもたらし、そして何より自分たちが楽しめる設えを構築してまいります。そして異業種交流会には、異なる業界の生きた情報を得ることができる利点もあり、会員拡大としての意味だけでなく必ずメンバーの自己成長に繋がります。

入会歴に関係なく、メンバー全員が会員拡大の一員であることを強く意識し、一丸となって進めることで、魅力ある長井青年会議所を作ってまいりましょう。青年会議所が行う全ての事業が会員拡大のチャンスです。まずは私たち会員拡大特別会議が機会を創出し率先して行動していきます。

2. 事業目的

- 1、共にこの地域を思い行動する青年を創出する。

3. 事業計画

事業名	事業内容	日時・場所	予算	主務
会員拡大運動	新たな仲間を長井J.C.に迎えるための会員拡大の先導・主務・実行。	通年	¥29,000	全員
会員拡大例会	新たな仲間を迎えるための機会と会員交流の場の創出	4月	¥94,000	齋藤
会員交流事業	会員同士の交流を通し団結力を高める事業	8月	¥0	樋口

予算合計 ¥123,000

事 務 局

1. 基本方針

長井青年会議所が設立して53年が経過しました。様々な時代の中でも長井青年会議所は存続し続け、地域のために多くのメンバーが貢献してきました。

現在、私たちが活動する西置賜では、低調な経済成長率で一進一退を繰り返しています。人材確保は人口減少により困難な状況にあり、業況の見通しが足踏みもしくは悪化すると考えている企業も多くあるのが現状です。そのため、私たち地域住民は生活の中に幸福感や満足感を得ることができていないと考えます。地域をけん引していくリーダーとしての責任を自覚し、今こそメンバー一人ひとりが前向きな思考と好奇心を持って様々な物事に取り組み、学んでいくことで、地域の人財に成長していかなければならないと考えます。

本年度、事務局では常任理事会、理事会の運営は勿論、総会や例会、LOM内における庶務、各種渉外や各種取りまとめ、そして組織の一体化に取り組んでいきます。特に理事会においては、理事メンバーが十分に議論を重ねられるよう、ただ設営・運営を行うだけでなく、事前にコミュニケーションをとることで出席の促進、資料の事前配信を徹底します。また、出向メンバーの支援を行い、出向で得た知識・経験をLOMに還元できるよう推進して参ります。さらにHPやSNSを中心とした情報の配信を行い、全国へ各事業や長井青年会議所の魅力を伝えて参ります。私たちの活動をより広く伝播していくことで、新たな人財の発見や地域の各コミュニティとの交流を図る中でより強固な連携や協力が得られるものと考えます。

2019年は平成から新元号に代わります。長井青年会議所としても新たな時代に突入して参ります。委員会の垣根を超え組織として一丸となって取り組めるよう積極的にサポートすることで、一人で悩まず助け合える新たな環境の構築に寄与していきます。事務局一同、更に人と組織と地域が共に成長出来る組織運営を目指して一年間取り組んで参ります。

2. 事業目的

- 1、LOM内の事務処理業務について円滑な管理運営を行う。
- 2、対外的なJC活動の情報発信と活動に対する内外の意識向上を図る。

3. 事業計画

事業名	事業内容	日時・場所	予算	主務
新春賀詞交歓会	外部団体や行政をお招きし、JC活動の情報発信と活動に対する意欲向上を図る事業を行う	1月	¥24,000	小林
置賜4JC合同例会	置賜4JC合同例会の実施、その他3LOMとの連絡調整を行う	10月	¥50,000	小松(雄)
卒業式	卒業生への感謝の気持ちを込めた卒業式を実施する	12月	¥79,000	小林
ホームページ運営	ホームページの運営・管理	通年	¥0	全員

予算合計 ¥153,000